

「インバウンドビジネスを創出する グローバル・ローカリゼーション」プロジェクト

代表者	村上嘉代子【教授】（工学部 電子工学科）
構成員	長谷川 浩志（機械制御システム学科） / 間野 一則（電子情報システム学科） / 市川 学（環境システム学科） / 渡邊 大（機械制御システム学科） / 岡田 佳子（土木工学科） / 中村 真吾（機械機能工学科）

■プロジェクトの概要

若者の農業離れが進み、農業に携わる企業にとっては深刻な問題である。とうがらしファームを営む合同会社十色の取り組みや認知度を上げてより若者に農業に興味を持ってもらいたいというところをスタート地点に、十色とうがらしファームの「出荷しない唐辛子は廃棄している」という背景もあり、唐辛子を使った温泉を提案することとなった。後期は生の唐辛子を温泉で活用するにはどうすべきかという点から様々な実験を行い、とうがらしアートを温泉に浮かべるという提案に至った。また、株式会社温泉道場が運営する温浴施設の「おふろcafé utatane」（埼玉県さいたま市）、合同会社十色の「とうがらしファーム」（埼玉県さいたま市）と連携し、唐辛子を使ったトークショーイベントに参加した。

唐辛子農家×入浴施設×学生 = 唐辛子風呂

■ 背景

若者の農業離れが進んでいることは、農業に携わる企業・農家にとって深刻な問題である。とうがらしファームを営む合同会社十色では、若者に農業の楽しさを知ってもらうことで、この問題に取り組んでいる。

■ 十色とうがらしファームとは

まちと畑をつなぎ、たくさんの人に農業を楽しんでもらえるような事業を行い、SDGsを実践する農業法人。さいたま市見沼田んぼで唐辛子専門農園と農業体験イベントの企画・運営を実施しているとうがらし専門農家である。



「畑はエンターテインメント」十色とうがらしファーム

■ 現状分析・課題

農業を通して他の人にも「初めての体験や発見」、「土や植物など自然と触れ合える楽しさ」を感じて欲しいという思いから農業イベントの運営も行っている。更に、とうがらし畑のオーナー体験や、ネット販売やクラウドファンディングなどを駆使している。しかし、以下のような課題を抱えていた。

- ・ 農業イベントに参加する若者が少ない
- ・ 現状、十色自体の認知度が低い
- ・ 出荷できない唐辛子を活用したい

■ 目的

若者に農業を楽しんでもらうには、まずは農業に興味を持ってもらう必要がある。十色の唐辛子を生かした話題性の高い企画を提案することで、メディアへの露出を増やし、若者の認知度向上を図ることを目的とした。



■ 提案：唐辛子風呂

目的を達成するための4つの要素である、唐辛子、話題性、独自性、若者の流行を活用した提案として、唐辛子風呂を提案した。農業と関わりの無い場所から、若者が興味を示しうるイベントや製品を展開することで、十色や唐辛子の認知度の向上を図ることができると考えた。

- ・ ターゲット層：銭湯に訪れる若者
- ・ 提案の狙い：とうがらし銭湯で話題作り



十色認知度↑

十色売上↑

銭湯客層拡大

唐辛子風呂イベント

■ コンセプト

発汗効果とカラフルで珍しい唐辛子によって、「chillerる」ことをコンセプトとした。



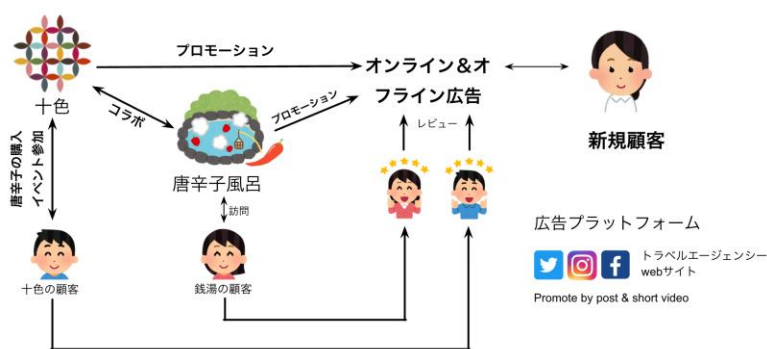
■ 温泉道場とは

株式会社温泉道場は「お風呂から文化を発信する地域を沸かせ」をミッションに掲げ、温浴施設・宿泊施設の運営委託や、地域事業投資再生支援、地域行政等と連携した地域活性化などを事業として行っている。



■ ビジネスモデル

本提案におけるステークホルダーは、十色、十色の既存顧客、温泉道場、温泉道場の既存顧客である。十色は、とうがらし銭湯の企画。また農業体験イベントの企画と運営を行う。温泉道場は、とうがらし銭湯の実施場所提供とイベントの運営を行う。温泉道場側のメリットとしてはイベント実施による話題性の獲得とそれに伴う集客拡大、コラボ農業体験イベントからの客層拡大である。



■ 唐辛子風呂イベント

十色と、株式会社温泉道場をのコラボ企画として「唐辛子風呂イベント」が実現した。大宮で温泉道場が運営している「おふろcafe utatane」にて、1月16日~31日の間で開催された。

コラボ内容としては、唐辛子風呂、唐辛子サウナ、オリジナル唐辛子ドリンクの提供、珍しい唐辛子の展示の4つを行った。

■ 唐辛子アート

更に十色の認知度を向上させる施策として、唐辛子を用いて十色のロゴマークを作成した。十色の特徴である世界中から集められたさまざまな唐辛子を使うことでよりカラフルに作成することができ、さらなる集客効果が期待できる。また、ロゴマークに固定して浮かべることで、唐辛子回収時の手間の問題を解決した。



■ トークイベント

更に1月21日には、「おふろcafe utatane」にて、今回のコラボ企画の実現について、十色、温泉道場、我々の三者を交えたトークイベントを行った。

真冬のお風呂屋さんでホットな唐辛子を			十色とうがらしファーム×芝浦工業大学
唐辛子ドリンク特別提供 1/21(土)・1/22(日) フロント 1/28(土)・1/29(日) 200円以上 10:00-23:00 唐辛子が入ったドリンク販売。	唐辛子スペシャルトーク 1/21(土) 16:00-16:30 唐辛子生産者×学生によるスペシャルトークショー。生産にける想いや、今回のイベントについて語ります。	唐辛子風呂 1/16(金)~1/31(木) 唐辛子サウナ 1/16(金)~1/31(木)	十色とうがらしファーム さいたま市緑区にあるとうがらし専門農園 芝浦工業大学 東京都江東区、港区、さいたま市にキャンパスがある大学

■ プレスリリース

イベントの開催に伴って、PRTIMES、Twitterや大宮経済新聞などでプレスリリースが行われた。

プレスリリース マスコミ関係者 各位

2023年1月11日



さいたま市の大学生が地域の企業の課題を解決！
おふろcafe utatane にて大学生考案の「唐辛子風呂」実施



株式会社温泉道場（埼玉県比企郡ときわ町、代表取締役 山崎寿樹）が運営する温浴施設 おふろcafe utatane（埼玉県さいたま市）は、十色とうがらしファーム（埼玉県さいたま市、合併会社十色 代表 サカール祥子）と芝浦工業大学（東京都江東区、学長 山田純）の大学院理工学研究科システム理工学専攻（さいたま市大宮キャンパス）と連携し、「真冬のお風呂屋さんでホットな唐辛子風呂を提供しよう」というコンセプトのもと、唐辛子を使ったイベントを開催します。

■ コラボの影響

今回のコラボにより、「異なる客層へのアピール、地域社会とのつながり、拡散性の高い話題性、メディアへの更なる露出」の4つが達成でき、十色の課題解決に貢献した。